

令和元年度 長野県諏訪二葉高等学校同窓会 東京支部総会参加報告

令和元年5月11日（土曜日）の長野県諏訪二葉高等学校同窓会東京支部総会にご招待いただき、守屋校長、岸会長、石澤副会長の3名で参加しました。会場は昨年と同じ『アルカディア市ヶ谷』です。

晴天の市ヶ谷駅に降りると、それらしい綺麗な装いの女性が多々目立ちます。『諏訪二葉・・・』のカードを持った案内の方を目安に強い陽射しの中ぞろぞろと行く道中、昨年の議事での活発な議論を思い出して、今年はどうなるのかと少し緊張して歩を進めました。

参加者158名で、今年も昨年に勝る盛大な支部総会でした。東京支部の皆様の二葉への熱い想いや支部総会の形への拘りを感じさせられ、役員交代もあり、今年もより一層の感動の集いでした。

【第一部の定期総会】

緊張ぎみの校歌斉唱、物故者への黙禱に続き、支部長の挨拶、来賓紹介と岸会長、守屋校長挨拶とスムーズに進み、守屋校長からの現二葉生の活躍や高校の再編の説明と高校改革の話があり、変革は必要だが『諏訪二葉』の名を残したい、との言葉に拍手が起こりました。

議事も、平成30年度の事業報告、会計報告、監査報告、内規改正、令和元年度の役員承認、事業計画、予算がスムーズに承認されました。

そして、東京同窓連・南信同窓連の報告では、各学校の横の繋がりの活性化が必要との事でした。

時間を増やしていた議事でしたが今年は質疑がなかった為、空いた時間に急遽、大先輩の高女の方と高校8回生の方が指名されました。サロン化しない諏訪二葉同窓会の東京支部総会のかたちを誇りに思い、堅持して行って欲しいと熱く語られ、その為の資金（会費や寄付）への協力を呼び掛けられました。改めて、並々ならぬ二葉愛と同窓会への想いを痛感しました。

【第二部の講演会】

昨今話題の、上野千鶴子氏による講演。

『おひとりさまとして自分らしく生きる～あらゆる資源を活用して～』

少子高齢化の今を高齢者としてどう生きるか、『おひとりさま』こそ一番幸せな老後の生き方であり、その為にどんな選択肢があるのか、社会に必要なシステムは何か、決して未来では無い死をどの様な形で迎えるのか、等々多くの同窓会参加者にとって、まさに今聴きたいお話でした。それをインタビューで得たり、他の研究者のデータを活用して、明るくユーモアを交えて分かり易くお話して下さいました。非常に興味深く楽しく拝聴出来て、あっという間の1時間でした。もう一度お聞きしたい。是非、諏訪でも講演をお願いしたいものです。

【第三部の傘寿を祝う会】

東京支部の対象者約 100 名中、26 名が参加。（今年を対象者全員に案内状をお送りしたとの事）

『白き翼』斉唱、傘寿代表のご挨拶、傘寿の皆様から東京支部への寄付金が贈られました。『ドレミの歌』のかえ歌、記念撮影、最後はおんべをふりふりの『信濃の国』の合唱で、歌う毎に大きく響き渡る歌声になり、大盛会の内に閉会しました。

今年はお昼の時間に余裕があり、ゆっくりと食事できて、思いがけない再会や久々の級友と話が出来たりで、より一層楽しい時間を過ごせました。

石澤 記